

コスモス国際賞受賞記念講演会に参加 20171109

首都大学東京荒川キャンパスにおいてジェーン・グドール博士の講演が行われ、本校3年生2名、4年生10名、5年生6名が参加しました。

ジェーン・グドール博士は、「進化の隣人」である野生チンパンジーの研究を1960年に開始し、チンパンジーのシロアリ釣りに代表される道具の使用や制作、長期にわたる母子のきずなの重要性の発見、近年では、チンパンジーが使用する道具に地域ごとに異なる文化が存在することを突き止めるなど、野生チンパンジーの全体像を描き出すことに尽力されました。今回の講演ではこれら研究にまつわるエピソードや、研究を発端として創案され、世界中に拡がりをもせている環境教育プログラム「ルーツアンドシューツ」などについてお話をいただきました。

講演会後には、生徒たちからの多数の質問にグドール博士が丁寧に応じてくださり、非常に充実した時間になりました。

